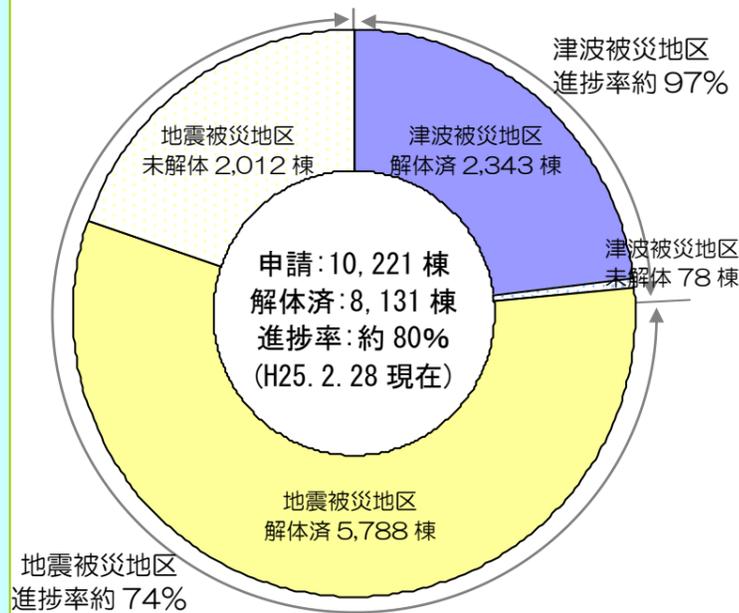


災害廃棄物の処理状況について

I 発生 災害廃棄物等推計量：約 82 万 t

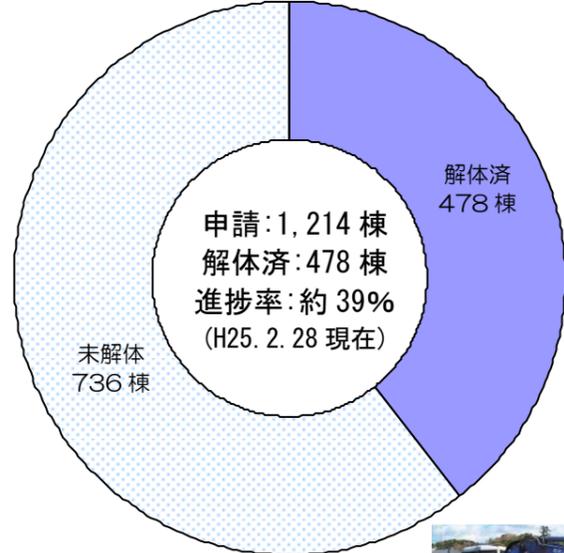
【図 1 損壊家屋の解体撤去状況】



○今年度内に全ての解体申請に対し決定行為を完了するよう全力をあげているが、解体工事については平成 25 年度に約 1,400 棟が繰越しとなる見込である。



【図 2 津波被災地区残置基礎の解体撤去状況】



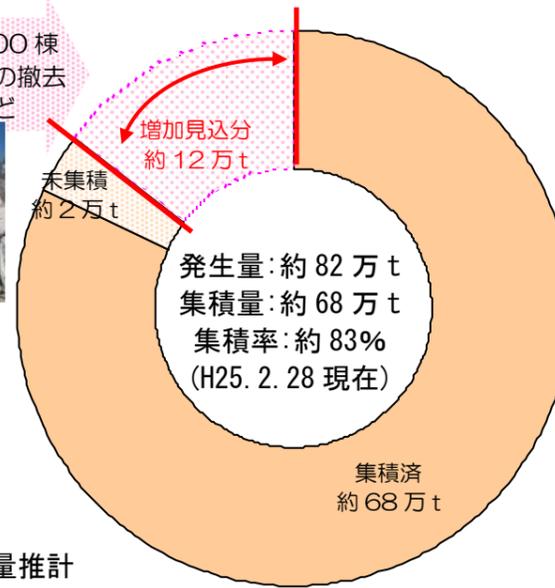
○平成 24 年 11 月に対象者へ通知し、12 月から順次、工事等着手。今年度内完了を目指し、鋭意作業を進めている。



II 集積 累積集積量：約 68 万 t (平成 25 年 2 月末現在)

【図 3 仮置場への集積状況】

- 損壊家屋申請増約 2,200 棟
- 津波被災地区残置基礎の撤去
- 被災船舶の処理 など



※ 当初発生量推計 約 70 万 t

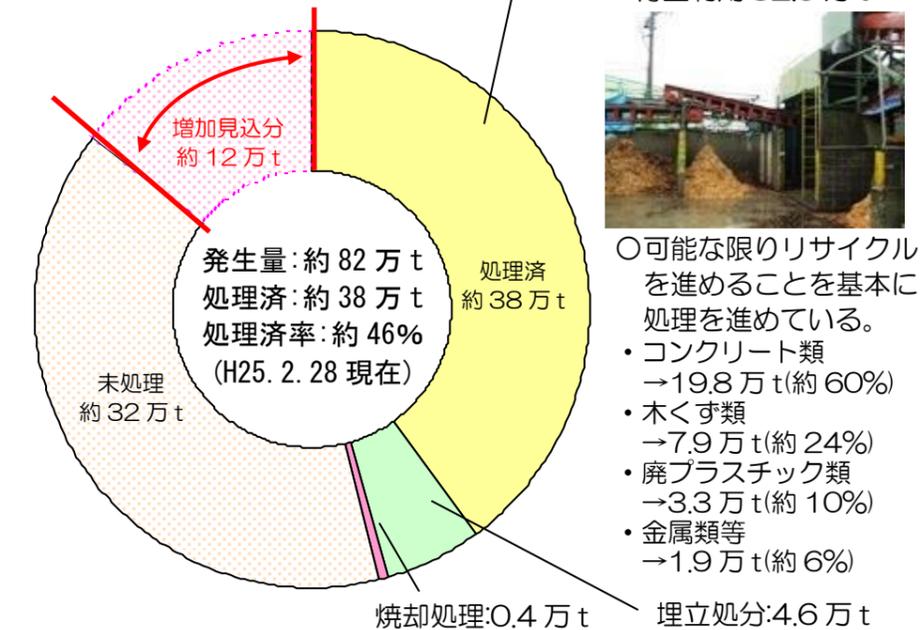
【図 4 仮置場の状況】



○小名浜港運動施設①、新舞子ハイツグラウンド②、仁井田運動場③については今年度中を目途に災害廃棄物の解消を図っている。

III 処分 処理済量：約 38 万 t (平成 25 年 2 月末現在)

【図 5 災害廃棄物の処理状況】

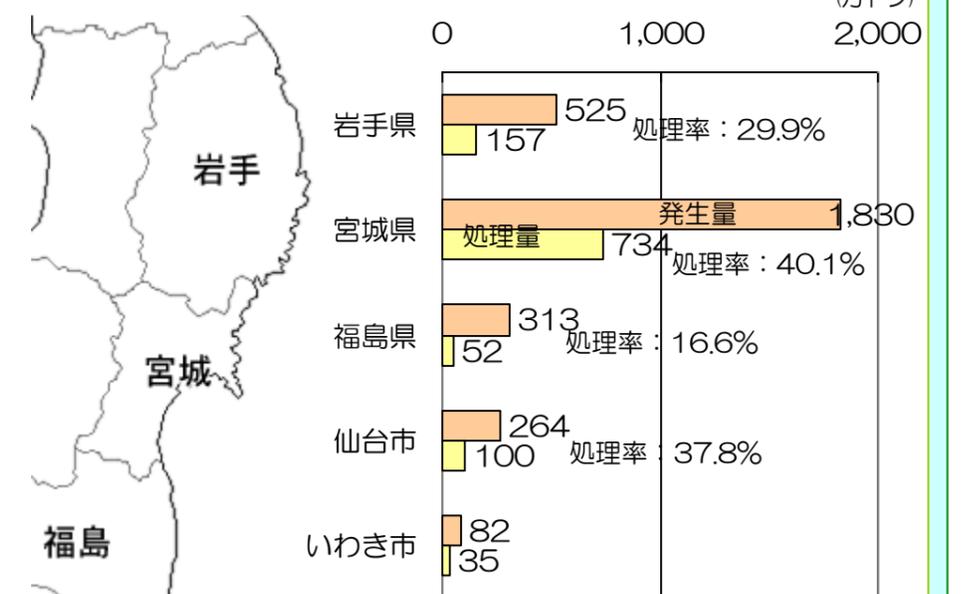


- 可能な限りリサイクルを進めることを基本に処理を進めている。
- ・コンクリート類 → 19.8 万 t (約 60%)
 - ・木くず類 → 7.9 万 t (約 24%)
 - ・廃プラスチック類 → 3.3 万 t (約 10%)
 - ・金属類等 → 1.9 万 t (約 6%)



災害廃棄物の他、仮置場返還時の表土除去により土砂約 5 万 t が発生する見込

【図 6 被災 3 県の沿岸市町村災害廃棄物等の処理状況】 (万トン)



《H25.1.31 現在 環境省調査》